

Governor's Monthly Letter

ROTARY INTERNATIONAL

ガバナー・月信
1991・1・15 No.8

国際ロータリー 第276地区
DISTRICT 276

RI 会長/ PAULO V. C. COSTA
RI 理事/ 蔵 並 定 男



ロータリーを高めよ

思いを尽くし熱意を尽くし

1990—1991年度
国際ロータリーのテーマ



重要無形文化財“奥三河豊根の花まつり” 下黒川津島神社舞堂にて(91.1/2大村副幹事撮影)

1月のことば 松の緑（ロータリー理解推進月間）

R I 第276地区ガバナー

中村 繁 男



各クラブ会長・幹事の皆さん。ロータリアンの皆さん。

1991年の新年をお祝い申し上げます。正月の代表的な植物として「松」があげられます。枯色の中、青々した常緑の松を見上げるとき、ロータリーも枯れないで、いつまでも発展してほしいとの思いを強くいたします。ものの本によると、「老いても樹勢がおとろえないところから、竹や梅とともに、めでたさや長寿の象徴として、日本人にたしなまれている。また神の依代として正月には門松が飾られる。」とあります。どうかロータリーを枯れさせないように、特に若いロータリアンの奮起をお願い致します。

「1947年1月27日、ロータリーの創始者、ポール・ハリスは世を去った。享年78歳、彼はシカゴ市、モーガン・パークのロングウッド通り、カムリー・バンクの自宅で安らかに眠った。彼とその愛するスコットランドの乙女の妻とが35年の幸福な年月を送った家で。」（J. ウォルシュ著P. ハリス）彼の妻ジーンはいつも針と糸を手もとからはなさないタイプの女性であったと、同じ伝記の別のページに書かれています。ポールが生涯をかけて作り上げたロータリーは「他人のことを考えて、何かをしてあげる。」という思いやりの心を基本にしております。ジーンの「針と糸」がポールの心をとらえて離さなかったというエピソードは、いつも私の脳裡を離れません。各クラブは1月27日から、2月2日までの例会において、追悼記念の行事を何か行っており、P. ハリスの遺徳を偲ぶとともに、この1年間に幽明界を異にされたクラブ会員の

霊に対しても、黙禱を捧げて頂き度いと思います。

この月が、ロータリー理解推進月間であるとともに、最終週が「追悼記念週間」であることは余り知られておりません。どうか趣旨に沿った活動を展開して頂くようお願い致します。

さて、昨年中に67のクラブの公式訪問と5分区のI.M.（都市連合会）を終了させて頂きました。かえりみて楽しいことばかりで、ガバナー冥利に尽きる半歳であったと云えましょう。50歳未満のロータリアンをI.M.のパネリストにしたことも、私の案ながら意味があったと思います。21世紀のロータリーと云われながら、ロータリーの現場では余り若いロータリアンの発言がないのは、かねてから残念に思っていたことのひとつでした。末岡君（名古屋東）はロータリーから色々な職業上の情報を得、知り合いを広めることが出来る半面、形式的、封建的な一面を嘆いていました。山田君（名古屋守山）は奉仕の楽しさ、ことに海外との交流、留学生カウンセラーとしての奉仕に人生の意義を見出したと発表されました。また地区大会、I.M.等を楽しくやってほしいとのご意見を頂戴しました。これはまったくその通りで、私もI.M.は一緒に飲み交わして、握手する場所で、フォーラムはつけ足しであるという考え方で、終始して頂くよう分区代理の皆さまにはお願いをして来ました。会長エレクト研修セミナーなども、あのように地区協議会と接近して開かれるのは、研修というよりガバナーと次期会長が親しくなる目的のもので、決して同じようなことを2度

するためではありません。地区大会にしてもしかり、大いに1日を遊んで、何かひとつつつかんで帰るような企画が必要だと思います。日本のロータリーでは仲々むづかしいことですが、「遊び心」のないということは、何としても淋しいことです。宮崎君（名古屋東南）はロータリー用語の難解さと、ロータリーの精神論的過ぎる点をあげられました。また「職業奉仕の新方針」をどう実践するか、問題を提起されました。「綱領」がわかりにくいからということで、昨年改訳されましたが、私が読んでみても、旧訳と改訳に大きな差を感じません。わかりやすくなったかどうか、またそのうちに改訳されるの

ではないでしょうか。出来るだけ、日本語として理解しやすい文章にしておきたいと思っています。岡部君（名古屋大須）は、日本的奉仕の根本が佛の慈悲にあることを説き、母が子に授乳するような気持ちで奉仕するよう恠々と話されました。ロータリーはエリートの象徴ではないという言葉も印象的でした。上地君（名古屋西）から例会では通常話の出来ない人と親しくなれる。多忙な人ほど、時間調整して出席に努力する。出席は健康のバロメーター等々の発表があり、聴衆の感銘を与えました。以下次号にゆずらせて頂きます。

女性会員は今、何名でしょうか。

女性会員は日本にどの位いるのでしょうか。RI日本支局から正式発表はありません。多分性差別への配慮からであると思います。ガバナー会でのアンケートを、某ガバナーが再確認したものを、ご参考までに掲載させていただきます。勿論資格のある優秀な候補者があれば、入会させていただきたいからです。

日本30地区 女性会員数 調べ（1990. 12. 7 ガバナー会にて）（会員数9月末）

地区名	ガバナー	所 属 RC	所 属 地 域	C数	人員	女性会員	近く見込
2 5 0	七戸 幸夫	旭 川 北	北海道東部	6 5	3.185	1名	
2 5 1	白石 欽一	札幌手稲	北海道西部	6 1	3.981	6	
2 5 2	狩野 寿一	古 川	岩手県宮城県	7 6	3.494	5	
2 5 3	佐久間有寿	郡 山 東	山形県福島県	9 4	4.646	7	
2 5 4	浅水 逸郎	八 戸	青森県秋田県	7 7	3.397	0	
2 5 5	宅間美治雄	下 館	茨城県栃木県	8 8	4.847	7	
2 5 6	原 猛	新 津	新潟県群馬県	8 0	4.929	1	
2 5 7	飯野 行雄	川 越 南	埼玉県	4 5	2.599	1	
2 7 7	石井 治	春 日 部	埼玉県	5 8	3.314	6	
2 5 8	加美山 節	東 京 北	東京都沖縄県	5 7	4.426	0	1
2 7 5	秋山 一	東京調布	東京都・グアム・サイパン・ボンベイ	6 6	5.356	(21)	
2 5 9	鵜川 昇	横 浜 緑	神奈川県	4 4	2.794	0	
2 7 8	古館 誠	鎌倉大船	神奈川県	5 9	3.314	0	
2 7 9	平塚新兵衛	佐 原	千葉県	7 0	3.921	7	
2 6 0	水野 春海	上 田 東	長野県	4 6	2.663	0	
2 7 6	中村 繁男	岡 崎 南	愛知県	6 6	5.410	3	4
2 6 1	四津谷仁朗	高 岡 西	富山県石川県	5 4	2.989	2	
2 6 2	大石 益光	静 岡	山梨県静岡県	7 2	4.123	0	
2 6 3	中川 和行	岐 阜 西	岐阜県三重県	5 9	4.055	0	3～4
2 6 4	大丸 鑑明	堺 南	大阪府和歌山県	5 9	3.664	0	
2 6 5	中野 重宏	奈 良	福井県滋賀県奈良県京都府	8 0	5.966	0	
2 6 6	広瀬勘一郎	大坂西南	大阪府	7 1	5.127	3	
2 6 7	佐々木善堯	西 条	徳島県香川県愛媛県高知県	6 7	3.651	0	
2 6 8	深川 純一	伊 丹	兵庫県	6 7	3.973	0	
2 6 9	岡本 貴夫	岡 山 東	鳥取県島根県岡山県	5 8	3.741	0	
2 7 0	上野 正康	小 倉	福岡県佐賀県長崎県	5 7	3.660	0	
2 7 1	松井 五郎	広 島	広島県山口県	6 0	3.703	1	
2 7 2	大平桂士朗	人 吉	大分県熊本県	6 9	3.350	5	
2 7 3	今林 重夫	指 宿	宮崎県鹿児島県	5 6	2.999	0	
2 7 4	内田 衍	佐 賀	佐賀県長崎県	4 7	2.685	0	

（註：275地区の21名はグアム・サイパンの外国人女性＊パブリック・ペーソン）

合計 55名

第19回 国際ロータリーアジア第1・第3ゾーン研究会

1990年12月8日(土)、9日(日)横浜プリンスホテル

RI第276地区ガバナー
中村 繁 男

この会議に先き立って、12月6日、新横浜・ソシア21において「財団セミナー」が行われた。リーダーは昨年と同じ、中島治一郎P.G.引き続いてご苦労なことである。1989-90、D276の無条件寄付(一般寄付)は31万1千ドル余で世界9位の実績をあげている。しかし人頭割にすれば61.79ドルで、日本全地区の中位の成績である。要するに会員数が多いということである。一人当たりとしては第264地区の158ドル、第265地区の108ドル、第278地区の106ドル、第259地区の102ドルと比較してみると寄与は特に大きいとは云えない。1人1人が財団に対する認識を高めて頂けば、当地区の勢いから見て1人100米ドルは達成出来る数字であると思う。私の年度の褒賞枠がもし、地区として多過ぎるという考え方があれば、3枠でも5枠でも、後進地域へ譲渡すればよい。これは千前RI理事の「NGO」の仕事に通じるものである。尚目標額を定めることは、昨年度からのRIの要請であり、私が単独で決めたものではない。今、「財団」の活動は「国際ロータリー」の中心である。ロータリーのもっとも魅力ある仕事として、世界各国が歓迎しているもので、拡大こそすれ、縮少することは絶対に出来ない。

ところで、本年度褒賞枠の2万5千ドルのうち、1万9千ドルが奨学生に要する額で、残りの6千ドルがGSEはじめ財団のその他の仕事に使用される。それは納得出来るのであるが、世界中の地区の中には1枠にあたる2万5千ドルを集めることさえ出来ない地区がいくつかある。多数の枠を持っている地区が頒ち与え合うのがロータリーの理念に従うものであることは当然と思われるが、解決のひとつの方法として現在の褒賞枠システム(AWRDS UNIT SYSTEM)から(SHARE SYSTEM)への移行が検討されているという。これは1991年4月のアナハイムの国際協議会での正式な発表を待たなければならないが、或るパーセンテージを寄付地区へ還元し、プログラムも奨学金の期間にバライテ



イを持たせるなど、かなり抜本的なものになるようである。財団寄付金の日本における所得税免税については、上記の改正をふまえて強力な運動が展開されることと思われ、ガバナー会も全面的に支援することになるであろう。財団がガバナーに地区目標を設定するよう要請してから3年目、87%の地区が目標達成に努力している。1989-90年度の一般寄付総額は3,875万ドルであった。

12月7日、ガバナー会。横浜プリンスホテル3階「菊の間」。ふたたび伊藤義郎財団トラスティからの詳しいお話により、財団の現状、RIと財団が表裏一体となって、一層密接な関係にあることを強調。国際ロータリーの1989-90年度監査報告は近く公式に発表される。200万ドル弱のプラスとなった反面、為替差損が220万ドルも出た由、これについては先ず報告書を見たい。1990-91年度には500万ドルの黒字が予想されていること、ほぼ健全な状態になったといえよう。

12月7日、RI会長エレクト、ラジェンドラ・K. サブー氏ご夫妻歓迎晩餐会、中村鴈治郎丈の舞踊、湯浅恭三元RIの理事の乾杯で開催された。「綾錦の間」での華やかな宴会では、サブー会長エレクトの歯切れのいい英語と、婦人の薄紫のサリーが印象的であった。

12月8日、9日、本会議第1回から第10回まで、大へんハードなセミナーであった。会場設営は満点であったが、ホール自体の音響が悪く、

聞きとるのがやっとと云った状態で、スピーカーも、聴衆も大へん疲れた。登録者数527名。

1992-93年RI会長ノミニー指名委員会（15名）はC.L.ダクターマン氏を指名した。氏はカンセコ元会長の副会長をつとめて、その有能さはよく知られている。（菅野）財団の基金を整備・充実する。（菅野）会員増強について、(1)新入会員は3ヶ月以内に1名新会員を推せんする。(2)1名も推せんしたことのない会員に1名を推せんしてもらう。(3)過去10年間に1名も推せんしていない会員に1名推せんを要請する。（末永）日本では人間は穴の中の蟹に等しい。

足のひっぱりあいをしている。（岡野）

我が第276地区からは豊橋クラブの高沢隆PGが、第8回本会議にパネラーとして出席。WC S活動について熱弁を振った。

この研究会は来年は、豊橋クラブのホストでホリデイ・イン豊橋で12月7日、8日行われる。地区としては久しぶりの大イベントで、本年度の会合を参考として、何としても成功させなければならない。

本稿の文責は一切ガバナーである筆者にある。ご質問・ご意見があれば私まで直接お申しこし頂きたい。

RI 第276地区
パストガバナー

川瀬保君を悼む



謹んで国際ロータリー第276地区川瀬保パストガバナーの御霊前に追悼の言葉を述べさせていただきます。

私がガバナー就任の時に頂きました電話による御励ましが、最後になるとは露知らず、ひたすら御快癒の日をお待ちしていた矢先、突然の御訃報に接し驚き悲しんでおります。

川瀬先生は1979年～80年当時国際ロータリー第260地区のガバナーとして、愛知・長野両県のロータリークラブを統率されました。

この年度国際ロータリーは創立75周年を迎え、世界中で記念事業を行い、その発展を祝いました。

ご在任中には塩尻、名古屋瑞穂、半田南、豊田東の4ロータリークラブを新たに結成され、

ロータリーの拡大に大きなご尽力を頂きました。

また青少年の育成とその奉仕活動には特に力を注がれ、その指導者として大きな影響力を発揮なさいました

インターアクターの海外派遣、伊奈ロータリーアクト・クラブの結成、青年実業家グループのカナダへの派遣など、若い人々のために、そして多くの方々から感謝される事業を次から次へ展開されました。

そのほか地区での職業別ロータリアン会議を2回にわたり開催され、カナダ、第555地区に55名の地区ロータリアンを派遣され友好、親善、のためにもつくされたことなど特筆すべきことが多くございました。

国際ロータリー第276地区は先生の卓越した御指導によって築かれた地盤の上に、今も活発な青少年奉仕活動を続けております。

私達は先生の御意志をついで、ロータリーの発展のために邁進する覚悟でございます。

ここに国際ロータリー第276地区、5千4百名のロータリアンを代表して追悼の言葉を述べさせていただきます。

先生の黄泉の旅路の安らかなことを心からお祈りして弔辞と致します。

国際ロータリー第276地区

ガバナー 中村繁男

RI第276地区

INTERCITY MEETING (IM) 尾張第1分区

1990・11・28/知多市勤労文化会館/分区代理 永井 進/ホスト知多RC

国際ロータリー第276地区尾張第一分区IMを平成2年11月28日14時30分より、知多市勤労文化会館に於いて開催しました。

テーマは勿論、RIパウロV.C.コスタ会長が示された『ロータリーを高めよ』ですが、サブテーマとして『これからのロータリー』を掲げて、分区内6クラブより各1名、50才未満のパネリストによりミーティングを行い、中村繁男ガバナー、田中徹パストガバナーより適切なアドバイスをいただき終わりました。

引き続いて17時15分より懇親会に移り、予定通り18時30分に無事終了することができました。

特別出席者には安藤嘉治知多市長、中村繁男ガバナー、田中徹パストガバナー、加納泉ガバナーノミニ、宮本昌幸地区幹事、の方々にご臨席を頂き懇親会の終わるまでお楽しみ下さり光栄に存じております。

第276地区内では、クラブ数、会員数、共に最小の尾張第一分区であります、参加者総数



271名で、全会員数の80パーセントに及ぶご協力に心より感謝をしている次第です。

何分にも、発足以来3年にも満たない未熟な知多ロータリークラブがホストを命ぜられ、行き届かぬ点もあったと思いますが、会員は勿論のこと、ご夫人も参加をいただき、何とか恥ずかしくない程度の成果を上げることができたと思います。

安保寛IM実行委員長以下、ホストの知多ロータリークラブ全会員のお骨折りに心から感謝いたします。

公式訪問だより



岡崎南R.C.

1990年11月30日(金)

会長 今泉 孝一

幹事 高橋 正直

会員数 93名

ホームクラブへの公式訪問ということで、いささか緊張気味。各委員会の内容を凡そわかっているため、アッセンブリーも客観的に、客観的に思いながら、主観的になってしまったことを反省している。折から台風28号が、11月としては何十年ぶりに接近、はげしい風雨となる。



一宮中央R.C.

1990年12月12日(水)

会長 松前 憲典

幹事 長谷川正己

会員数 61名

当地区はじめての女性会員3名を創立会員に含め、11月16日認承された新クラブ。保育園副園長林倫子さんのイニシエーション・スピーチ、ことに身体に障害のある幼児への奉仕に感銘した。松前会長指導の下、よいクラブに発展することは間違いない。

INTERCITY MEETING (IM) 三河第 2 分区

1990・12・14/愛知県刈谷勤労福祉会館/分区代理 市川 裕士/ホスト刈谷RC

「ロータリーを高めよ ロータリーの将来を考えよう」をテーマとし、中村ガバナー、高澤パストガバナー、加納ガバナーノミニーをはじめとして、分区内外18RCから336名のご出席を頂き、和やかな雰囲気の中IMは開催されました。オープニングセレモニーの後、市川分区代理をフォーラムリーダーとし、アドバイザーに、中村ガバナー、高澤パストガバナー、加納ガバナーノミニーを迎え、パネラーは安城RC石原健一君、西尾RC加納隆君、岡崎城南RC加藤陽一君、岡崎南RC大久保武君、豊田三好RC堀川泰君、豊田西RC大澤洋之君で、若い会員諸君のロータリー入会後の疑問、会員の和、増強、社会への奉仕、理想と現実、など素朴な質問は大変貴重なものがあり、時間が足りない位であった。また一般参加者からも興味のある質問が出る中、ガバナーをはじめ、二人のアドバイザーから、心の残る丁寧なご指導や、助言があり、大変有意義なフォーラムを終了することができた。



市川分区代理は、豊田西クラブ丹羽猶次郎君を次年度分区代理として紹介し、次年度IM開催地は豊田西RCに決定した。丹羽猶次郎君、村野力男会長、斎藤武会長エレクトからそれぞれ心強い受諾のご挨拶があり、市川フォーラムリーダーの打つ鐘の響きと共に意義ある本会議を終了した。

IMとして最も大切な懇親会も、肩触れ合うくらいの盛会の中、和気藹藹と時の過ぎるを忘れる程であった、最後の「手に手つないで」は三河第二分区内の「合同例会」にふさわしく互いの手と手の暖かみを確かめ合ってお開きとなった。

おめでとう 米山功労優秀クラブ (1千万円達成)

米山記念奨学会より1990年6月30日現在の普通、特別寄付金の合計累計額が、1千万円以上に達成したクラブに感謝状が贈られてきました。心からお祝い申し上げますと共に、ご協力に対し感謝申し上げます。次期地区大会にて表彰されます米山功労優秀クラブは次の通りです。

<1千万円達成クラブ>

安城ロータリークラブ

名古屋空港ロータリークラブ

名古屋東ロータリークラブ

名古屋守山ロータリークラブ

名古屋東南ロータリークラブ

瀬戸ロータリークラブ

豊川ロータリークラブ

ロータリー適用相場変更のお知らせ (RI. 日本支局財務室)

RI中央事務局より'91年1月1日から総ての振込に対する適用相場(ロータリーレート)を1ドル132円(現行130円)に変更する旨来電がありましたので連絡申し上げます。

***お詫び** ガバナー月信NO. 7のP11. ガバナーノミニー加納泉君の(名古屋RC)は(名古屋中RC)に訂正をさせていただきます。

地区WCSタイ (336地区) 視察旅行報告

実行委員長 安藤幸治 副委員長 杉浦三郎 加藤勇夫 (地区WCS委員会)

実施日：'90年11月29日～12月3日

参加人員：34名 (地区内19クラブより)

主な訪問先：チェンマイ市(バンコク市北東750km)、ランブーン市及びファング市(チェンマイより北160km)内にある336地区RCの奉仕先；

1. チェンマイ大学付属病院
2. 少年保護監察院 (少年裁判所と孤児養護学校を含む)
3. タイ北部盲人小学校 (中高等学校を含む)
4. 5. ランブーン市内小学校2校
6. メセバシコン中学理科教室
7. チャマサビRCのロータリー・ボランティア村 (保育園・養豚・農業指導等)
8. ファング老人会。市公民館
9. ファング市郊外の貧村にある小学校

他. ビルマとの国境近くに至るまでの貧村地帯
概況：11月30日早朝、山田勇チェンマイ領事のチェンマイ地域に就いての講演を聴く。その後、タイ336地区ガバナー始め多数ロータリーアンの誠実感溢れる案内と行く先々での熱烈な歓迎を受け上記の施設を訪問した。行政の貧しさによるのか、ロータリーを含む多くのボランティアの支えを待つ人々が多くいるのを実感した。

(例えば、上記2.の少年院での子供一人当たりの政府支給の食費は9 パーツ50円程で1日2食の時もある。地域のロータリーではボランティアでの指導員勤務・経費の援助寄付をしている。)

旅行中の当地区のWCS活動：

- ① 当地区内30クラブより336地区内25クラブの実施している奉仕活動に協力する目的にて合計474万円寄贈。



ファング市公民館で老人会と村民の大歓迎を受ける



チェンマイ少年院兼孤児養護施設訪問の視察団一行

- ② 知多RCは知多市と協力、ランブーン小学校へ文房具30カートンと児童画140枚を寄贈。
- ③ 名古屋東南RCよりファング老人会へスポーツウェア3カートンを寄贈。

寄贈は12月1日チェンマイ文化会館にての336地区ガバナー主催歓迎晩餐会の際、実施した。

実行委員と参加者の感想：今、参加者感想文集を編集中、先着の一部を掲載します。参加者のご感想により本旅行の成果は十分挙がったものと信じます。全員のご協力に感謝します。

参加された皆さんの声

木全雅之 (西春日井RC)

先ず私は安藤実行委員長の情熱、実行力に敬意を表します。又同行の皆様の厚い友情により無事任務を遂行、帰国出来た事と、336地区の多数の皆様の歓迎にも大変感謝感激致しました。民族を越えて、このような友情の交換が出来ました事は、素晴らしい事でした。

然し地球の一部には、まだ大変貧しい人々が沢山いる事も痛感致し、日本に生を受け平和と豊かな生活に感謝しなければならないと思いました。特に、西春日井RC基金贈呈のチャマサビRCには、遠路のところ案内をして頂き、夕刻にも拘らず老人から子供まで多数の村民の出迎えを受け、WCS活動の実績を真に見学させて頂きました。寄付した金額の15万円余は、私達一クラブにとっては、決して多額では無いにも拘らずタイ国ではこんなに有効に使われて皆様に感謝されるとは思ひもよりませんでした。

私達は今後一層世界社会奉仕に努力しなければならないと思った次第であります。

来川鋼治（名古屋瑞穂RC）

“行って良かった”これが私の実感だ。WCS活動とは、こう言うものかと良く理解出来た。スケジュールはハードでしたが、現地の人達から大変な歓迎を受け、疲れもふっ飛んでしまった。矢張り現地を観ることが大事ですね。

子供達にガムと風船を一人一人に渡している時、ふと、私が小学生の頃、進駐軍がガムをジープから投げ、みんなで拾った事を思い出し、何か胸が熱くなるのを感じた。

現地の老人や子供達には、明るさが満ち溢れていたように思えた。特に目が輝いていた。矢張り我々子供の頃、夢と希望があったのも、ハングリーだったのかも知れない。

初めての参加でしたが、有意義でした。次回も是非会員こぞって参加したいと思っております。

大西弘高（名古屋東南RC）

安藤委員長他担当各位のお骨折りに大変感謝申し上げます。強行スケジュールでいささかたびれましたが、各訪問先での熱烈歓迎には、本当に頭の下がる思いをした。タイ国WCS視察旅行でなくては見る事、感じる事の出来ないタイの本当の姿を見たような気がする。貴重な体験をしました。



ランフーン市小学校へ知多RCより
文具30箱と児童画を寄贈

小島洋一（東海RC）

今回のWCSタイ旅行は、私にとっては昨年のフィリピン、本年2月のタイに引き続き3回目の参加となった。3回目ともなると正直に言って、最初味わった様な、あの感動は薄らいだが、どこへ行ってもWCSの対象となるプロジェクトばかりで、WCSの底知れぬ魅力に更に取り付かれる結果となった。

その上、9月に来日した訪問団のメンバーと

も面識があったことも加わり、ロータリアン同志の友情が芽生えたことも素晴らしかった。

「百聞は一見に如かず」。この諺こそ、WCS活動に相応しいものはないと思う。単にお金や物を贈るとか、恵むと言うことでは無く、現地のロータリアンと共に奉仕活動に参加するという一体感は、視察旅行に参加した者でなければ到底味わうことの出来ない感動であろう。

今後更に一人でも多くの参加者が増えることを切に期待するものである。



ファング市郊外のロータリーと他の義援金に
依る毛布と文房具を貰って喜ぶ小学生。

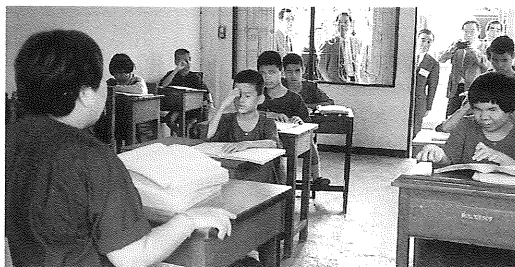
石原誠一郎（江南RC）

当初、WCSの語源すら知らず不勉強な私が旅行に参加させて戴き有難う御座いました。

安藤委員長様の素晴らしいリードのお蔭でその意味が理解出来た様な気がします。

クラブの外国クラブとの親善と奉仕は永い年月の間に方向が偏った方向に流れている様な気が致しております。今回このツアーに参加致しまして病院、学校等視察する機会に恵まれ、益々この感を強く思うようになりました。真の奉仕とは相手の本当の痛みを少しでも知り、実態をもっと理解する必要があるように今回の旅行を終えて思うところです。

私はロータリアンとしての経験が浅いのですが、この旅行を機にロータリーの奉仕の精神を勉強し直す所存です。参加させて戴いた事を感謝致します。（紙面の都合で中略お許しを願います。）



タイ北部唯一の盲人小学校の教育風景

第 1 回 (通算14回) ローターアクト部門別協議会報告

地区ローターアクト委員会委員長

足立 守男

晩秋の晴れ渡った青空の下、三河湾を見下ろす渥美町の“青年の家”に於いて田原ローターアクトクラブ(鈴木剛会長、河合弘幸実行委員長以下26名)のホストに依り平成2年11月18日曜日午前10時から、登録受付で開催されました。

協議会には地区ガバナー中村繁男、パストガバナー高沢隆、三河第一分区代理間瀬誠一、地区青少年奉仕委員長福山巧、(敬称略)を始めとして多数の地区役員、委員の皆様方が出席され更に当日の第6分科会のパネラーの1人として第260地区ローターアクト委員長の池上正之(伊那RC)さんも遠路ご出席を賜り、地区内8ローターアクトクラブ約100名のアクターと提唱及び協力クラブの18のロータリークラブで約130名のロータリアン併せて230名の多数の皆さんの出席を得ることが出来ました。

4年前260地区と276地区との地区分割され、分割後も昨年度までは両地区のローターアクトは合同で種々活動行い本年度に備えた経緯があり276地区としては今回が第1回の部門別協議会と云う事になったのであります。

特にアクトの諸君はこの協議会では日頃のアクトの活動に関わる様々な問題点をしっかりと討議し、そこから得た自信のある奉仕理念に基づいて次なるステップへと、この協議会をとらえ、協議会テーマを“マイナス×マイナス＝プラス”と云う積極性を盛り込んだテーマとして揚げ、このテーマに基いて特に分科会に重点をおいた協議会を計画したのであります。

分科会は、第1分科会から第5分科会までをそれぞれクラブ奉仕・国際奉仕・社会奉仕・専門知識・及び財務の5つの分科会としアクト中心に熱心な意見交換がなされ地区青少年奉仕の

福山巧委員長を始め地区内の提唱クラブからのアドバイザーが適切な助言を行って下さいました。

更に第6分科会はアクトの各クラブ会長・幹事と提唱クラブの会長・幹事・ローターアクト委員長が参加し、ローターアクトはつぎの所は会員増強にあると云う観点から、この壁をいかにして乗り越えられるか?お互い本音で話し合おうではないかと、高沢隆パストガバナー、池上正之260地区ローターアクト委員長、河合智之地区代表、柴田篤利岡崎ローターアクトクラブ会長の4パネラーと小生(筆者)のコーディネートで存分に討議を行いました。特に参加提唱ロータリークラブの会長、幹事さん方を始め参加ロータリアンの皆さんの今後に期待のもてる積極的な発言と姿勢を伺い見る事が出来向後にアクトの若い皆さんと共に喜びの共感を得ることが出来ました事をご報告申し上げます。

更に第7分科会として中村繁男ガバナーの“ロータリーに於ける青少年奉仕とローターアクトの提唱について”の座談会を行い地区内未提唱のロータリークラブに対するローターアクトのクラブ増強を呼びかける主旨の意義あるスピーチを頂戴する事が出来ました。

午後3時予定通り分科会報告・総評と終り盛大裡に閉会の点鐘となり、来年5月18～19日の豊橋での地区年次大会の再会を約しつつ、参加アクトの皆さんは家路へと秋の渥美路を帰途についた。

南へ急ぐ渡り鳥であろうか、澄み渡った午後の秋空を折しも遠く近く飛び去る群々、まるで小春日和の様な三河の海は静かに波打っていました。

田原ローターアクトの諸君と、そして田原ロータリークラブの皆様に対し深くお礼を申し上げます。



部門別協議会に於ける中村繁男ガバナーのご挨拶



第6分科会テーマ“ローターアクトの会員増強問題”についてのパネルディスカッションが熱心に行われた(参加者は提唱R.C.会長幹事及びローターアクト会長幹事)

“プログラム特別例会”を開催 名古屋名北RC 会長 吉田 和資

本年度は「ときには“充実した卓話”をじっくり聞こう」という主旨のもと、“プログラム特別例会”を行っています。恒例30分間の卓話を1時間に延長して、著名なスピーカーによる内容のある、充実したお話を伺うことにしているものです。特別卓話は、年4回の予定ですが、11月28日（水）の第488回例会では、第2回として名古屋国際ホテル総支配人・秋田美津子さんをお迎えし、「私の生き方」と題してお話を伺いました。

秋田さんは、今年1月、現職に就任。“女性のホテル総支配人としては全国初”として、マスコミでも大きく紹介され、話題を呼ばれた方であり、最近、ロータリーでも女性会員の入会問題がいろいろ話題になっている折柄、こうしたビジネスの第一線で活躍されている女性トップマネージャーのお話を聞くことに意義を求めました。

その卓話内容は、

「私は、小さい時から父の薫陶を受け、『人間はいろいろ苦しみがあるが、世のため、人のためになるような仕事をいつも考えておれば、人間は生かされる』と教えられ、いつしか女でも一生働かなければいけないという考えが身についた。22歳のとき、仏教の権威、紀野 義元先生に出会い、『人間には誰でも貪（とん）瞋（じん）痴（ち）の三毒がある。そしてそれをひとつひとつ鏡を磨くように磨いていくもうひとつの顔がある』と聞いて、私は、この三毒を一つひとつ拭っていくのが人生なのと思った。



その後、結婚して2子をもうけたが、事情があって一人となり、名古屋国際ホテルに職を求め、無給で宴会予約の仕事に就いた。当初3ヵ月ほどは全く仕事がなかったが、その後、仕事も増え、1年ほどしてようやく会社に認められ、ホテル専属の営業係となった。

以来十数年経たが、私は、その時以来今日まで“継続は力なり”で、どんなに苦しいことがあっても続けていこうと思うとともに、他人に決して頼らないということを心がけた。

私はいま、これから続いてくる若い人たちにいい職場、いい環境を与えていくのが、自分の仕事であると思っており、若い人たちに『職場は人間道場である。人間道場で毎日お客様に接することによって自分が磨かれていく。職場を通して自分をつくっていく場所だ』と説いている。お客様に仕事を頂きながら、宴会というものを通して自分を磨いていく場が毎日与えられている。これは、私にとってもたいへん有難いことである」

と、みずからの精進を通して培った“心の経営”を述べられ、最後には愛唱する詩吟を披露され、感銘深い1時間だった。

例会出席者のレベルアップを

岡崎4RCは例会出席者のレベルアップについて下記の申し合せを行った。

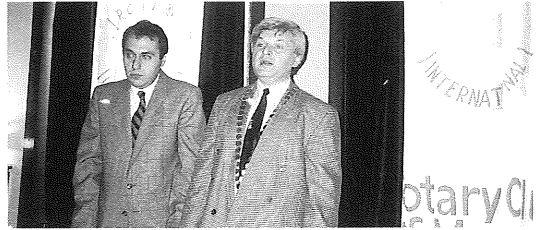
1. 通常ロータリークラブの例会は1時間（点鐘から点鐘迄）が原則で、止むを得ぬ場合に限り60%の在席を以て出席扱いにするものであります。従って自、他クラブを問わず止むを得ず中途退席される場合は前以てS・A・Aに連絡して下さい。
2. 無断欠席は例会開始24分後迄、明確な出席状況が分からず、又食事その他の準備に大変な迷惑を生ずるので、出席委員会、S・A・A、事務局等の立場を考慮して、欠席の場合は必ずご連絡下さい。
3. 食事中は大いに楽しく語らい、報告及び卓話の時間は極力私語を慎んで頂くようご協力下さい。

岡崎RC 岡崎東RC 岡崎南RC 岡崎城南RC



モスクワRC訪問記

名古屋北RC
富田 昭



1990年3月27日、ちょっと気にかかるニュースが私の好奇心を捕えた。それは共産圏で初めてのロータリークラブがモスクワに設立されたという記事である。まだついこの間ベルリンの壁が崩壊、私たちを新聞、テレビの前にくぎ付けにしたあの世紀のドラマが開幕したばかりなのに、そのあまりにも早い改革には思わず目を疑った。

残念ながら私たち昭和一けたのソ連といえばそのイメージはあまりにも暗い。そんな気持ちの中に何か温かいろうそくの光がポーと一つともらった感銘を受けると同時に、何が何でもその移り変わりをこの目でしかと見届けたいと飛び出したのが今回の旅であった。

すなわち第一の目的は私たちと全く異次元の73年間を経た国に突然できたロータリークラブに出席してみること、そして第二としては、本当に短いしかも都市だけの旅ではあるが、自由化の大きな波の中でその街々は一体どんな顔をしているのだろうか、といったやじ馬根性での出発であった。

さて私の着いたモスクワ空港の到着ロビーは残念ながら決して快適とは言えなかった。よく空港はその国の顔などと言われるが全く暗くて汚い。しかし飛行の途中で添乗員さんからさんざん聞かされた、1時間ないし2時間かかると言われた入国と税関手続きはあつというまのフリーパス。後で聞くとところによれば彼がちょっと薬を効かせたとか、これが私たちの最初におめにかかったペレストロイカなのかと思った。取りあえずホテルにチェックイン、まず最初の目的であるロータリー例会場に飛んでいった。例会は火曜日の午後7時から住宅地にあるひっそりとした古風なレストランを会場として毎週行われている。最初、日本のニュースでは25人で発足とあった会員はすでに37人、国営企業の幹部、学術関係の専門家、医者、弁護士等と、いずれも時流の先端をいく人たちである。ちなみに街ではほとんど通用しない英語がここでは

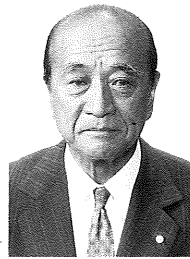
通じる。当日はビジターとして米国人3人と私を含め日本人3人であったが、例会はビジターを紹介すると同時に最後まで英語とのバイリンガルで行われたのには全くの驚きであった。私としては長い間、全く体制の異なった国の中に、このような組織が芽生えたことに大きな喜びを感じ、その気持ちの一端でも伝えることができたらと来たのであるが、同じロータリーの仲間として丁重に歓迎され、本当に出席できて良かったと思った。ただ感じたままを言えば、この例会の雰囲気も何となく暗くて重いのである。ロシア人は一人一人としては素朴で明るいとい何かの本で読んだ記憶があるが、こうして集まってみると重くて固い。彼らの日常に大きな影響を与えた73年の過去がこのへんにも顔を出しているのではないかと思った。もう一つ、ビジターフィーのことであるがこれもちょっと気にかかる。米ドルで15ドル請求され払ったのであるが、いろいろの事情があるにしろ明日のソ連をリードすべき顔触れの席で外国人の私たちになぜグループで請求しないのか、いまだに私の頭に引っ掛かっている問題である。とにかく短い都市だけの旅行はあったが、考えさせられることの多い旅であった。かの有名な長い行列、デコボコの舗装道路、ドルと煙草に集まるタクシー、食事の給仕よりもやみのキャビアを売るのに忙しいホテルのボーイ、検札かと思ったら寝台車の個室に土産物を並べ最後は自分の金ピカ制帽まで10ドルで売ってしまった車掌。ほんの一つまみの点描ではあるが、これでは自由経済社会の建設にはその基本となる部分でまだまだ長い道のりがかかることであろう。何はともあれ、国民一人ひとりがもっと汗を流すことを身につけることが今一番大切なことだと思った。今まで73年間、ずっとバレーボールしかしてこなかったのに、急にバスケットボールをする必要にせまられている。しかし、だれもルールがわからない。日本を旅立つ前に読んだこんな言葉が、一日も早く過去の出来事となることを祈る次第である。

1991～92年度 分区代理の紹介

1991～92年度分区代理が
決定し委嘱されました。

尾張第一分区

中林大三 (なかばやし だいそう)



大正15年11月8日
シニア・アクチブ (元 建築)
東海RC
名古屋市瑞穂区弥富町月見岡15-2
(株)東海興業 取締役社長
旧日大大坂専門学校経済学部
(現近畿大学)
1969年4月 東海RC入会
1971～'72年度 幹事
1972～'73年度 副会長
1973～'74年度 会長

名古屋第一分区

天野道造 (あまの みちぞう)



昭和2年7月8日
シニア・アクチブ (元 ホテル業)
名古屋大須RC
名古屋市昭和区高峰町76
(株)プリンスガーデンホテル
代表取締役会長
東邦商業学校
1985年2月 名古屋大須RC入会
1985～'86年度 副会長
1986～'87年度 会長

名古屋第二分区

伊藤 寛 (いとう ひろし)



大正8年10月30日
シニア・アクチブ (元 公認会計士)
名古屋東RC
名古屋市昭和区南山町15-8
公認会計士 伊藤寛事務所 所長
東京商科大学
1959年6月 名古屋東RC入会
1966～'67年度 幹事
1985～'86年度 副会長
1986～'87年度 会長
1988～'89年度 地区職業奉仕委員

東尾張分区

大野義彦 (おおの よしひこ)



昭和7年1月4日
シニア・アクチブ (元 産婦人科医)
岩倉RC
岩倉市下本町燈明庵165
大野産婦人科 院長
金澤大学 医学部
1970年7月 江南RC入会
1976～'77年度 幹事
1979年4月 岩倉RCにKMとして移籍入会
1981年3月 幹事
1982～'83年度 副会長
1983～'84年度 会長

西尾張分区

水野宏武 (みずの ひろたけ)



昭和8年2月1日
シニア・アクチブ (元 建築)
西春日井RC
名古屋市西区枇杷島4丁目14-5
株式会社 水野建設 代表取締役
名城大学 理工学部建築科
1971年10月 稲沢RC入会
1975年10月 西春日井RCに移籍
1976～'77年度 幹事
1978～'79年度 会長

三河第一分区

三高 宏 (さんだか ひろし)



大正6年6月29日
シニア・アクチブ (元 採石)
奥三河RC
北設楽郡東栄町本郷字南万場31
中部採石工業 (株) 会長
横浜高等工業学校 (現国立横浜大学)
電気化学科
1970年5月16日 入会
1972～'73年度 会長

三河第二分区

丹羽猶次郎 (にわ なおじろう)



大正7年6月11日
シニア・アクチブ
(元 金属製工具類配布)
豊田西RC
豊田市平戸町馬場瀬30-109
(株)池田工作所 取締役社長
尋常高等小学校
1971年7月1日 入会
1975～'77年度 幹事
1977～'78年度 副会長
1978～'79年度 会長

巣箱贈呈 安城R.C.

本年第276地区の大きなテーマである「環境保全」の主旨に添い、愛鳥モデル校の岡崎市立生平小学校山浦昭雄校長先生へ石原会長より会員全員の名前を書き込んだシジュウカラ用の巣箱を会員の数だけ贈呈いたしました。
山浦昭雄校長先生は「12月8日（土）に子供達と一緒に頂いた巣箱を山にかけられます。有難うございました。」とお礼を述べられた。



お知らせ

住所表示変更のお知らせ 高浜RC

平成3年1月1日より下記の町名に変更になりますので何卒宜しくお願い申し上げます。

記

新住所 〒444-13 愛知県高浜市青木町8丁目3番地8 チサンセミナーホール高浜内(例会場も同じ)

文庫通信

このたびは2月23日のロータリー創立記念日に因んで、文庫資料の中が下記の9点をご紹介します。

- 「ロータリー定礎の三人」 塚本義隆 1979年 42頁 [文庫]
 「ロータリアン福島喜三次傳(日本ロータリーの曙)」 有田RC 1986年 102頁 [☎09554-3-3120]
 「ロータリーの日本化大夢翁土屋元作伝」 日出RC 1989年 368頁 [☎0977-72-2534]
 「忘れ得ぬロータリアン(1~18) ロータリーの黎明・第1号ロータリークラブ誕生 他」
 「友」 1967年1月~1968年7月号 64頁 [文庫]
 「忘れ得ぬロータリアンー日本ー(1~9) 父 市左衛門を憶う・父 米山梅吉のこと 他」
 「友」 1963年1月~11月号 34頁 [文庫]
 「Arthur Sheldon : he made a motto」 THE ROTARIAN : FEBRUARY 1976 2頁 [文庫]
 「Frank collins:He gave us"Service Above Self"」
 THE ROTARIAN : FEBRUARY 1977 1頁 [文庫]
 「'CHES'-Builder of Rotary」 THE ROTARIAN : FEBRUARY 1975 4頁 [文庫]
 (ビデオ) 「ロータリー誕生」(RI創立75周年記念演劇 森繁久弥指導) D.258 1980年 38分 [文庫]
 <注. [] =問合せ先>

おめでとうポールハリスフェロー 11月

浅井 謹 爾(岡 崎)	伊 藤 和 夫(名古屋東南)	水 野 宏 武(西春日井)
杉 浦 皓(岡 崎)	河 合 博 文(東 海)	稲 吉 隆 夫(一 色)
長 田 治(一 色)	小 松 六 彦(一 色)	神 谷 君 和(豊 橋)
上 村 健 介(豊 橋)	鈴 木 邦 夫(豊 橋)	成 田 真 康(豊 橋)
長 屋 一 雄(豊 橋)	山 本 裕 司(豊 橋)	服 部 友 巳(豊 橋)
須 見 興 太(豊 橋)	小 澤 里 史(津 島)	佐 藤 昭 太 郎(津 島)
大 橋 勇 男(半 田 南)	出 口 正 昭(半 田 南)	江 川 辰 三(瀬 戸)
小 林 伸(名古屋西)	長 瀬 由 司 久(名古屋西)	河 合 義 郎(岡 崎)
中 嶋 昭 史(岡 崎 南)		

訃 報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

12月25日 清水 史郎君(名古屋東RC) 12月26日 川瀬 保君(名古屋南RC)

第276地区

出席報告

1990年12月分

分 区	クラブ名	出席率	例 会 数	会 員 数			分 区	クラブ名	出席率	例 会 数	会 員 数		
				'90年 7月1日	当 月	増 減					'90年 7月1日	当 月	増 減
尾 張 第 一 分 区	知 多	100.00	3	39	42	+3	西 尾 張 分 区	あ ま	100.00	3	91	94	+3
	半 田	95.80	4	69	71	+2		尾 西	99.44	3	60	60	0
	半 田 南	100.00	4	53	56	+3		一 宮	98.35	4	94	97	+3
	東 知 多	95.58	4	52	52	0		一 宮 北	97.36	3	83	79	-4
	常 滑	97.10	4	63	63	0		稲 沢	99.59	4	61	62	+1
	東 海	94.53	4	60	64	+4		西春日井	94.79	4	65	67	+2
	計	97.17		336	348	+12		尾張中央	100.00	3	48	48	0
名 古 屋 第 一 分 区	名 古 屋	95.20	4	246	248	+2	三 河 第 一 分 区	津 島	99.08	4	94	95	+1
	名古屋南	98.26	4	117	128	+11		一宮中央	93.44	4	0	61	+61
	名古屋港	100.00	4	120	122	+2		計	98.00		596	663	+67
	名古屋瑞穂	100.00	4	90	92	+2		渥 美	94.62	4	63	65	+2
	名古屋中	99.77	3	146	148	+2		蒲 郡	97.49	4	79	79	0
	名古屋西	97.74	4	163	163	0		奥 三 河	95.00	5	43	44	+1
	名古屋大須	99.62	3	86	90	+4		新 城	97.18	3	59	59	0
	名古屋栄	97.08	3	52	57	+5		田 原	97.76	4	69	70	+1
	名古屋東南	100.00	4	93	100	+7		豊 橋	99.36	4	126	127	+1
名 古 屋 第 二 分 区	計	98.63		1,113	1,148	+35	三 河 第 二 分 区	豊橋ゴールドン	100.00	3	63	65	+2
	名古屋千種	98.10	4	65	66	+1		豊 橋 北	98.08	4	117	118	+1
	名古屋東	99.70	3	115	113	-2		豊 橋 南	98.99	4	81	82	+1
	名古屋北	99.68	3	107	110	+3		豊 川	95.00	4	81	82	+1
	名古屋名北	100.00	4	66	69	+3		豊川宝飯	92.67	4	57	58	+1
	名古屋名東	100.00	4	69	71	+2		田原パシフィック	97.56	4	0	41	+41
	名古屋守山	96.73	4	97	98	+1		計	96.96		838	890	+52
	名古屋和合	100.00	4	105	110	+5		安 城	98.79	4	80	82	+2
	計	99.17		624	637	+13		碧 南	99.66	4	75	78	+3
東 尾 張 分 区	犬 山	100.00	4	83	85	+2	三 河 第 二 分 区	一 色	99.52	4	52	52	0
	岩 倉	95.73	4	42	42	0		刈 谷	99.62	3	98	102	+4
	春 日 井	100.00	3	86	89	+3		西 尾	99.40	4	87	88	+1
	小 牧	100.00	3	70	70	0		岡 崎	100.00	4	101	108	+7
	江 南	96.57	3	75	74	-1		岡 崎 東	99.67	4	79	83	+4
	名古屋空港	100.00	3	71	72	+1		岡崎城南	100.00	3	67	71	+4
	尾 張 旭	100.00	3	63	62	-1		岡 崎 南	99.72	4	88	97	+9
	瀬 戸	99.10	4	81	84	+3		高 浜	100.00	4	51	50	-1
	瀬 戸 北	100.00	4	58	59	+1		豊 田	99.43	4	90	97	+7
	豊山城北	98.58	4	74	74	0		豊 田 東	98.48	4	82	84	+2
	計	98.99		703	711	+8		豊 田 西	98.62	3	97	98	+1
								豊田三好	100.00	3	26	26	0
								計	99.49		1,073	1,116	+43
地区内クラブ数 67RC				'90.7.1 会員数	5,283名	増 加 会 員 数	230名						
				当月末会員数	5,513名	減 少 会 員 数	0名						
				当月平均出席率	98.34%	差引純増会員数	230名						

中村ガバナー無事公式訪問日程を終了

中村ガバナーは7/11豊川RCに始まり、12/12一宮中央RCに終る、地区内67RCの公式訪問の長旅をお陰様で恙無く終えることが出来ました。各クラブの皆さんの心暖まるご歓迎まことに有難うございました。



花いっぱい演壇でごあいさつ
(半田RC)



67RCの皆さん温かい歓迎
ありがとうございました



正装のSAAさんと一緒に記念撮影
(豊橋RC)



立派な松の盆栽をありがとうございました
(稲沢RC)



花束で歓迎ありがとうございました
(西春日井RC)



「花の舞」の少年

昭和六十四年一月二日、大村君（G月信編集）と豊根村へ向った。豊根は奥三河ロータリークラブの区域の東北端にある過疎で有名な村。花祭は十一月から一月にかけて、愛知・長野・静岡の県境一帯に伝承されている山岳修験の湯立神楽である。祭場の中央に釜を据え湯気の中で神楽が奉納される。クライマックスは午前三時ごろ、まさかりかついだ鬼の登場である。花祭の花は稲の花を意味し、むかしは新年を迎える直前に行われていたそうである。私たちが訪れた夜神楽の祭場には、「昭和天皇ご快癒を祈る」という幕が目立った。さて、少し離れてみると、高台の祭場はスポットをあてられたように闇の中に浮んでいた。さらに離れてゆくと従って闇は深くなり、祭場は小さな電球のようになり、山の凍てが身にしみて来た。昨年、大嘗祭の翌日、百三十年ぶりに大神楽が行われた。立願者は村長で、豊根村のこれからの百年の存続と繁栄を祈願してのものであった。

はなかくら
花神楽離れ来し闇幾重にも

繁男

がバナー歳時記